

2018 年度
1 年生対象
外国語科目（英語・日本語）
シラバス

長崎総合科学大学

共通教育部門

言語教育グループ

内容（掲載順）

英語

前期開講科目

後期開講科目

日本語

前期開講科目

後期開講科目

選択したシラバスのプレビュー画面です 2018年度 [\[操作ボタン\]](#)

講義科目名称 : **基礎英語 I A (前期 1年E4, E5, E6, E7)** 授業コード : **17101 17102 17106**
 英文科目名称 : **Basic English IA**

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年次	1単位	選択
担当教員			
上野 誠司 (E4)、ギャリー・メイソン (E5)、上野 誠司 (E6)、若林 節子 (E7)			
全学年	全学部	週2時間	

授業概要	<p>本科目は、英語カリキュラムのスタートに位置づけられるものである。基礎英語Iでは、英語に苦手意識を持っている学生や英語力を十分に発揮できない学生を対象に、英語の基礎に立ち返り、これまでに修得してきた英語力を再構築して、その力をバランスよく伸ばすことを目指す。基礎英語 IAでは、reading / writingに重点がおかれ、同時期に開講する「基礎英語 IB」では、listening / speakingに重点がおかれている。</p> <p>*[重要]「基礎英語 IA」は、「基礎英語 IB」とセットで構成されている科目であるので、両方の科目を同学期に履修すること。</p>
授業計画	<p>1回 ガイダンス 2回 1A Hello! 3回 2A We aren't English. We're American. 4回 3A What's in your bag? 5回 4A Family and friends 6回 5A Breakfast around the world 7回 6A She works for Armani. 8回 Review: 1-6 9回 7A What do you do in your free time? 10回 8A Can you start the car, please? 11回 9A What are they doing? 12回 10A Is there really a monster? 13回 11A It changed my life. 14回 12A Strangers in a train 15回 Review: 7-12</p>
授業形態	講義
達成目標	<p>① 異文化や、多様な価値観を理解する上で、重要なコミュニケーションの道具としての「英語」に慣れ親しむこと。 ② 外国語学習だけに留まらず、生涯学習にもつながる積極的な学習習慣を身につけること。主体的、積極的に英語の学習に取り組み、広く世界を知る喜びを得ること。</p>
評価方法	<p>① 授業外で行われる「英語共通テスト」50点、 ② 授業に対する積極的な姿勢や、授業内で行う小テスト、出された課題の内容及び提出状況などによる平常点と、定期試験期間中に行われる期末試験とで、50点、という配分で評価する (総合 100 点満点)。</p>
評価基準	<p>上記の評価方法で算出された100点満点の成績に対して、 80-100点を優、70-79点を良、60-69点を可、59点以下を不可とする。</p>
教科書・参考書	<p>教科書: English File Beginner Student's Book with iTutor [Third edition] (ISBN: 978-0-19-450183-5) *教科書は、基礎英語IAと基礎英語IBとは、共通である。 その他については、授業中に随時指示する。</p>
履修条件	<p>① クラス分けの指示に従うこと。 ② 外国語のカリキュラムの系統性に従って履修すること。 ③ 主体的に学習する意欲、姿勢を持つこと。</p>
履修上の注意	<p>① 授業外で行われる「英語共通テスト」は、定期試験期間よりも前に行われる。掲示で実施期間を確認し、必ず受験すること。 ② 3分の2以上の授業に出席し、主体的に参加することが最低限必要であり、これを為さない場合は評価をしないので注意すること。 ③ 授業中に指示された自己学習については、学習支援センターや、図書館などを利用したりしながら必ず行うこと。</p>
予習・復習	<p>授業と同程度の時間を使って、教科書の内容や教員が指定した予習、教員に指示された課題やレポートなどを学習支援センターで行い、疑問点があれば教員やセンター職員に質問すること。 [*推奨] 教室・図書館・学習支援センターの英語多読用図書を使って、自ら目標をたてて自主的に学習したりすることが望ましい。</p>
オフィスアワー	授業中に説明する。
備考・メッセージ	<p>* JABEE学習・教育目標 (1.4) * 2013年度以前入学者科目名称: 英語IA</p>

選択したシラバスのプレビュー画面です 2018年度 [操作ボタン](#)

講義科目名称 : **基礎英語IB (前期 1年E4, E5, E6, E7)** 授業コード : **17122 17123 17124**
 英文科目名称 : **Basic English I B**

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年次	1	選択
担当教員			
上野 誠司 (E4)、ギャリー・メイソン (E5)、小田 尚子 (E6)、若林 節子 (E7)			
全学年	全学部	週2時間	

授業概要	<p>1年次・「前期」に開講する本科目は、英語カリキュラム・基礎クラスのスタートに位置づけられるものである。基礎英語Iでは、英語に苦手意識を持っている学生や英語力を十分に発揮できない学生を対象に、英語の基礎に立ち返り、これまでに修得してきた英語力を再構築して、その力をバランスよく伸ばすことを目指す。「基礎英語 IB」では、listening / speaking に重点がおかれ、同時期に開講する基礎英語 IAではreading / writingに重点がおかれている。</p> <p>*[重要]「基礎英語 IB」は、「基礎英語 IA」とセットで構成されている科目であるので、両方の科目を同学期に履修すること。</p>
授業計画	<p>1回 ガイダンス 2回 1B Where are you from? 3回 2B What's your phone number? 4回 3B Is that a hat? 5回 4B Big cars or small cars? 6回 5B A very long flight 7回 6B A day in my life 8回 Review: Units 1-6 9回 7B Lights, camera, action! 10回 8B What do you like doing? 11回 9B Working undercover 12回 10B Before they were famous... and after 13回 11B Life in a day 14回 12B A weekend in Venice 15回 Review: Units 7-12</p>
授業形態	講義
達成目標	<p>① 異文化や、多様な価値観を理解する上で、重要なコミュニケーションの道具としての「英語」に慣れ親しむこと。 ② 外国語学習だけに留まらず、生涯学習にもつながる積極的な学習習慣を身につけること。主体的、積極的に英語の学習に取り組み、広く世界を知る喜びを得ること。</p>
評価方法	<p>① 授業外で行われる「英語共通テスト」50点、 ② 授業に対する積極的な姿勢や、授業内で行う小テスト、出された課題の内容及び提出状況などによる平常点と、定期試験期間中に行われる期末試験とで、50点、という配分で評価する (総合 100 点満点)。</p>
評価基準	上記の評価方法で算出された100点満点の成績に対して、80-100点を優、70-79点を良、60-69点を可、59点以下を不可とする。
教科書・参考書	<p>教科書: English File Beginner Student's Book with iTutor [Third edition] (ISBN: 978-0-19-450183-5) *教科書は、基礎英語IAと基礎英語IBとは、共通である。 その他については、授業中に随時指示する。</p>
履修条件	<p>① クラス分けの指示に従うこと。 ② 外国語のカリキュラムの系統性に従って履修すること。 ③ 主体的に学習する意欲、姿勢を持つこと。</p>
履修上の注意	<p>① 授業外で行われる「英語共通テスト」は、定期試験期間よりも前に行われる。掲示で実施期間を確認し、必ず受験すること。 ② 3分の2以上の授業に出席し、主体的に参加することが最低限必要であり、これを為さない場合は評価をしないので注意すること。 ③ 授業中に指示された自己学習については、学習支援センターや、図書館などを利用したりしながら必ず行うこと。</p>
予習・復習	<p>授業と同程度の時間を使って、教科書の内容や教員が指定した予習、教員に指示された課題やレポートなどを学習支援センターで行い、疑問点があれば教員やセンター職員に質問すること。 [*推奨] 教室・図書館・学習支援センターの英語多読用図書を使って、自ら目標をたてて自主的に学習したりすることが望ましい。</p>
オフィスアワー	授業中に説明する。
備考・メッセージ	<p>* JABEE学習・教育目標 (1.4) * 2013年度以前入学者科目名称: 英語IB</p>

選択したシラバスのプレビュー画面です 2018年度 [操作ボタン](#)

講義科目名称 : **基礎英語IIA (前期 1年E2, E3)** 授業コード : **17103 17104 17105 17107**
 英文科目名称 : **Basic English IIA**

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年次	1	選択
担当教員			
パスカル ヤマック (E2)、アンドリュー・ウィリアムズ (E3)			
全学年	全学部	週2時間	

授業概要	<p>基礎英語IIでは、一定の英語力を身につけた学生を対象に、これまで修得してきた英語の4技能をさらにバランスよく伸ばすことを目指す。基礎英語IIAでは、reading / writingに重点がおかれ、同時期に開講する「基礎英語IIB」では、listening / speaking に重点がおかれている。 *[重要]「基礎英語 IIA」は、「基礎英語 IIB」とセットで構成されている科目であるので、両方の科目を同学期に履修すること。</p>
授業計画	<p>1回 ガイダンス 2回 1A: My name's Hannah, not Anna / B: All over the world 3回 2A: A writer's room / B: Stars and Stripes 4回 3A: Things I love about Britain / B: Work and play 5回 4A: Is she his wife or his sister? / B: What a life! 6回 5A: Do you have the X Factor? / B: Love your neighbours 7回 6A: Reading in English / B: Times we love 8回 7A: At the National Portrait Gallery / B: Chelsea girls 9回 8A: A murder story / B: A house with a history 10回 9A: What I ate yesterday / B: White gold 11回 10A: The most dangerous road... / B: CouchSurf round the world! 12回 11A: First impressions / B: What do you want to do? 13回 12A: Books and films / B: I've never been there! 14回 Revise and Check 1-6 15回 Revise and Check 7-12</p>
授業形態	講義
達成目標	<p>① 異文化や、多様な価値観を理解する上で、重要なコミュニケーションの道具としての「英語」に慣れ親しむこと。 ② 外国語学習だけに留まらず、生涯学習にもつながる積極的な学習習慣を身につけること。主体的、積極的に英語の学習に取り組み、広く世界を知る喜びを得ること。</p>
評価方法	<p>① 授業外で行われる「英語共通テスト」50点、 ② 授業に対する積極的な姿勢や、授業内で行う小テスト、出された課題の内容及び提出状況などによる平常点と、定期試験期間中に行われる期末試験とで、50点、という配分で評価する (総合 100点満点)。</p>
評価基準	<p>上記の評価方法で算出された100点満点の成績に対して、80-100点を優、70-79点を良、60-69点を可、59点以下を不可とする。</p>
教科書・参考書	<p>教科書: English File: Elementary Student's Book [Third edition] (ISBN: 978-0-19-451788-1) *教科書は、基礎英語IIAと基礎英語IIBとは、共通である。 その他については、授業中に随時指示する。</p>
履修条件	<p>①クラス分けの指示に従うこと。 ②外国語のカリキュラムの系統性に従って履修すること。 ③主体的に学習する意欲、姿勢を持つこと。</p>
履修上の注意	<p>① 授業外で行われる「英語共通テスト」は、定期試験期間よりも前に行われる。掲示で実施期間を確認し、必ず受験すること。 ② 3分の2以上の授業に出席し、主体的に参加することが最低限必要であり、これを為さない場合は評価をしないので注意すること。 ③ 授業中に指示された自己学習については、学習支援センターや、図書館などを利用したりしながら必ず行うこと。</p>
予習・復習	<p>授業と同程度の時間を使って、教科書の内容や教員が指定した予習をするとともに、教員に指示された課題やレポートなどを行い、授業の内容をしっかりと復習し、疑問点があれば教員に質問すること。 [*推奨] 教室・図書館・学習支援センターの英語多読用図書を使って、自ら目標をたてて自主的に学習したりすることが望ましい。</p>
オフィスアワー	授業中に説明する。
備考・メッセージ	<p>* JABEE学習・教育目標 (1.4) * 2013年度以前入学者科目名称 : 英語IIA</p>

閉じる

選択したシラバスのプレビュー画面です 2018年度 [操作ボタン](#)

講義科目名称 : **基礎英語IIB (前期 1年E2, E3)** 授業コード : **17121 17138 17139 17140**
 英文科目名称 : **Basic English IIB**

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年次	1	選択
担当教員			
パスカル ヤマック(E2), アンドリュー・ウィリアムズ(E3)			
1年次以上	全学部	週2時間	

授業概要	<p>基礎英語IIでは、一定の英語力を身につけた学生を対象に、これまでに修得してきた英語の4技能をさらにバランスよく伸ばすことを目指す。基礎英語IIBでは listening/speakingに重点が置かれ、同時期に開講する「基礎英語IIA」では、reading/writing に重点が置かれている。</p> <p>*【重要】「基礎英語IIB」は、「基礎英語IIA」とセットで構成されている科目であるので、両方の科目を同学期に履修すること。</p>
授業計画	<p>1回 ガイダンス 2回 1C: Open your books, please / Practical English 1 Arriving in London 3回 2C: After 300 meters, turn right / Revise and Check 1 and 2 4回 3C: Love online / PE2: Coffee to take away 5回 4C: Short life, long life? / Revise and Check 3 and 4 6回 5C: Sun and the City / PE3: In a clothes shop 7回 6C: Music is changing their lives / Revise and Check 5 and 6 8回 7C: A night to remember / PE4: Getting lost 9回 8C: A night in a haunted hotel / Revise and Check 7 and 8 10回 9C: Quiz night / PE5: At a restaurant 11回 10C: What's going to happen? / Revise and Check 9 and 10 12回 11C: Men, women, and the Internet / PE6: Going home 13回 12C: The English File questionnaire, Revise and Check 11 and 12 14回 Review (Writing) 15回 Review (Communication)</p>
授業形態	講義
達成目標	<p>①異文化や、多様な価値観を理解する上で、重要なコミュニケーションの道具としての「英語」に親しみ、英語を使つての「能動的なコミュニケーション力」を身につけること。 ②主体的、積極的に英語の学習に取り組み、広く世界を知る喜びを得ること。</p>
評価方法	<p>①授業外で行われる「英語共通テスト」50点、 ②授業に対する積極的な姿勢や、授業内で行う小テスト、出された課題の内容及び提出状況などによる平常点と、定期試験期間中に行われる期末試験とで50点、 という配分で評価する(総合 100点満点)。</p>
評価基準	上記の評価方法で算出された100点満点の成績に対して、80-100点を優、70-79点を良、60-69点を可、59点以下を不可とする。
教科書・参考書	<p>教科書: English File: Elementary Student's Book [Third edition] (ISBN: 978-0-19-451788-1) *教科書は、基礎英語IIAと基礎英語IIBとは、共通である。 その他については、授業中に随時指示する。</p>
履修条件	<p>①外国語のカリキュラムの系統性に従って履修すること。 ②主体的に学習する意欲、姿勢を持つこと。</p>
履修上の注意	<p>① 授業外で行われる「英語共通テスト」は、定期試験期間よりも前に行われる。掲示で実施期間を確認し、必ず受験すること。 ② 3分の2以上の授業に出席し、主体的に参加することが最低限必要であり、これを為さない場合は評価をしないので注意すること。 ③ 授業中に指示された自己学習については、学習支援センターや、図書館などを利用したりしながら必ず行うこと。</p>
予習・復習	<p>授業と同程度の時間を使って、教科書の内容や教員が指定した予習、教員に指示された課題やレポートなどを学習支援センターで行い、疑問点があれば教員やセンター職員に質問すること。 [*推奨] 教室・図書館・学習支援センターの英語多読用図書を使って、自ら目標をたてて自主的に学習したりすることが望ましい。</p>
オフィスアワー	授業中に説明する。
備考・メッセージ	<p>* JABEE学習・教育目標 (1.4) * 2013年度以前入学者科目名称: 英語IIB</p>

閉じる

選択したシラバスのプレビュー画面です

2018年度 [操作ボタン](#)

講義科目名称 : 英語 I A (前期1年E1、2年E⑤、E⑥、E⑦)

授業コード : 17290 17291 17292

英文科目名称 : English IA

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年次	2	選択
担当教員			
中島恭子 (1年E1, 2年E⑦), パスカル ヤマック (2年E⑤), ギャリー・メイソン (2年E⑥)			
1/2年次	全学部	週2時間	

授業概要	<p>英語Iでは、すでに一定の英語力を身につけた学生を対象に、これまで修得してきた英語の4技能をさらにバランスよく伸ばすことを目指す。英語IAでは基礎英語IIAに引き続き、reading / writing に重点がおかれ、同時期に開講する「英語IB」では、listening / speakingに重点がおかれている。</p> <p>*【重要】「英語 IA」は、「英語 IB」とセットで構成されている科目であるので、両方の科目を同学期に履修すること。</p>
授業計画	<p>1回 ガイダンス 2回 1A: Where are you from? 3回 1C: Mr and Mrs Clark and Percy 4回 2A: Right place, wrong person 5回 2C: One dark October evening 6回 3A: Plans and dreams 7回 3C: What's the word? 8回 4A: Parents and teenagers 9回 4C: Lost weekend 10回 5A: No time for anything 11回 5C: How much is too much? 12回 6A: Are you a pessimist? 13回 6C: The meaning of dreaming 14回 Review (Vocabulary Bank) 15回 Review (Grammar Bank)</p>
授業形態	講義
達成目標	<p>①異文化や、多様な価値観を理解する上で、重要なコミュニケーションの道具としての「英語」に親しみ、英語を使つての「能動的なコミュニケーション力」を身につけること。 ②主体的、積極的に英語の学習に取り組み、国際人として広く世界を知ること。</p>
評価方法	<p>①授業外で行われる「英語共通テスト」50点、 ②授業に対する積極的な姿勢や、授業内で行う小テスト、出された課題の内容及び提出状況などによる平常点と、定期試験期間中に行われる期末試験とで、50点、という配分で評価する(100点満点)。</p>
評価基準	<p>上記の評価方法で算出された100点満点の成績に対して、80-100点を優、70-79点を良、60-69点を可、59点以下を不可とする。</p>
教科書・参考書	<p>教科書: English File: Pre-intermediate Student's Book [Third edition] (ISBN: 978-0-19-459865-1) *教科書は、英語IA、英語 I B、英語II、英会話III、英会話IVで共通である。 その他については、授業中に随時指示する。</p>
履修条件	<p>①クラス分けの指示に従うこと。 ②外国語のカリキュラムの系統性に従って履修すること。すなわち基礎英語 II Aと基礎英語 II Bの2科目2単位をすでに修得済みであること(但し、1年生E1組に配属された学生、および、特別措置として教員がその学生の状況を判断して特に履修を認めた場合は除く)。 ③主体的に学習する意欲、姿勢を持つこと。</p>
履修上の注意	<p>① 授業外で行われる「英語共通テスト」は、定期試験期間よりも前に行われる。掲示で実施期間を確認し、必ず受験すること。 ② 3分の2以上の授業に出席し、主体的に参加することが最低限必要であり、これを為さない場合は評価をしないので注意すること。 ③ 授業中に指示された自己学習については、学習支援センターや、図書館などを利用したりしながら必ず行うこと。</p>
予習・復習	<p>授業と同程度の時間を使って、教科書の内容や教員が指定した予習をするとともに、教員に指示された課題やレポートなどを行い、授業の内容をしっかりと復習し、疑問点があれば教員に質問すること。 [*推奨] 教室・図書館・学習支援センターの英語多読用図書を使って、自ら目標をたてて自主的に学習したりすることが望ましい。</p>
オフィスアワー	授業中に説明する。
備考・メッセージ	<p>* JABEE学習・教育目標 (1.4) * 2013年度以前入学者科目名称 : 英語IIIA</p>

閉じる



シラバス登録 プレビュー

 Univers
大

選択したシラバスのプレビュー画面です

 2018年度 [\[操作ボタン \]](#)

 講義科目名称 : 英語 I B (前期1年E1, 2年E5, E6, E7)
 英文科目名称 : English IB

授業コード : 17114 17115 17116 17117 17118

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年次	2	選択
担当教員			
中島恭子 (1年E1, 2年E7), パスカル ヤマック (2年E5), ギャリー・メイソン (E6)			
1/2年次	全学部		週2時間

授業概要	<p>本科目は、英語カリキュラムの「基礎英語IIA・B」を踏まえて行われるものである。英語Iでは、すでに一定の英語力を身につけた学生を対象に、これまで修得してきた英語の4技能をさらにバランスよく伸ばすことを目指す。英語IBでは、listening / speaking に重点がおかれ、同時期に開講する「英語IA」では、reading / writing に重点がおかれている。</p> <p>*[重要] 「英語 IB」は、「英語 IA」とセットで構成されている科目であるので、両方の科目を同学期に履修すること。</p>
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1回 ガイダンス 2回 1B: Charlotte's choice 3回 1 Practical English: Hotel Problems 4回 2B: The story behind the photo 5回 Revise and Check 1 and 2 6回 3B: Let's meet again 7回 3 Practical English: Restaurant Problems 8回 4B: Fashion and shopping 9回 Revise and Check 3 and 4 10回 5B: Superlative cities 11回 5 Practical English: The wrong shoes 12回 6B: I'll never forget you 13回 Revise and Check 5 and 6 14回 Review (Writing) 15回 Review (Communication)
授業形態	講義
達成目標	<ol style="list-style-type: none"> ①異文化や、多様な価値観を理解する上で、重要なコミュニケーションの道具としての「英語」に親しみ、英語を使つての「能動的なコミュニケーション力」を身につけること。 ②主体的、積極的に英語の学習に取り組み、国際人として広く世界を知ること。
評価方法	<ol style="list-style-type: none"> ①授業外で行われる「英語共通テスト」50点、 ②授業に対する積極的な姿勢や、授業内で行う小テスト、出された課題の内容及び提出状況などによる平常点と、定期試験期間中に行われる期末試験とで、50点、という配分で評価する(100点満点)。
評価基準	上記の評価方法で算出された100点満点の成績に対して、80-100点を優、70-79点を良、60-69点を可、59点以下を不可とする。
教科書・参考書	教科書: English File: Pre-intermediate Student's Book [Third edition] (ISBN: 978-0-19-459865-1) *教科書は、英語IA、英語IB、英語II、英会話III、英会話IVで共通である。 その他については、授業中に随時指示する。
履修条件	<ol style="list-style-type: none"> ①クラス分けの指示に従うこと。 ②外国語のカリキュラムの系統性に従って履修すること。すなわち基礎英語IIAと基礎英語IIBの2科目2単位をすでに修得済みであること(但し、1年生E1組に配属された学生、および、特別措置として教員がその学生の状況を判断して特に履修を認めた場合は除く)。 ③主体的に学習する意欲、姿勢を持つこと。
履修上の注意	<ol style="list-style-type: none"> ① 授業外で行われる「英語共通テスト」は、定期試験期間よりも前に行われる。掲示で実施期間を確認し、必ず受験すること。 ② 3分の2以上の授業に出席し、主体的に参加することが最低限必要であり、これを為さない場合は評価をしないので注意すること。 ③ 授業中に指示された自己学習については、学習支援センターや、図書館などを利用したりしながら必ず行うこと。
予習・復習	授業と同程度の時間を使って、教科書の内容や教員が指定した予習をするとともに、教員に指示された課題やレポートなどを行い、授業の内容をしっかりと復習し、疑問点があれば教員に質問すること。 [*推奨] 教室・図書館・学習支援センターの英語多読用図書を使って、自ら目標をたてて自主的に学習したりすることが望ましい。
オフィスアワー	授業中に説明する。
備考・メッセージ	* JABEE学習・教育目標 (1.4) * 2013年度以前入学者科目名称: 英語IIIB

閉じる

選択したシラバスのプレビュー画面です 2018年度 [操作ボタン](#)

講義科目名称 : 英語Ⅱ (前期1年E0, 2年E①, E②, E③) 授業コード : 17129
 英文科目名称 : English II

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年次	2	選択
担当教員			
ギャリー・メイソン(1年E0), アンドリュー・ウィリアムズ(2年E①), 若林節子(2年E②, E③)			
1/2年次	全学部	週2時間	

授業概要	本科目は、英語カリキュラムの「英語IA・B」を踏まえて行われるものである。英語IIでは、「英語IA・B」で修得した英語の4技能をさらにバランスよく伸ばし、それらを用いて多様な場面での「能動的なコミュニケーション力」を培うことを目指す。
授業計画	<p>1回 ガイダンス</p> <p>2回 1A Where are you from?</p> <p>3回 2C One dark October evening</p> <p>4回 3C What's the word?</p> <p>5回 4B Fashion and shopping</p> <p>6回 5B Superlative cities</p> <p>7回 6C The meaning of dreaming</p> <p>8回 Review: 2 - 7回</p> <p>9回 7B Being happy</p> <p>10回 8B If something can go wrong, ...</p> <p>11回 9B I've been afraid of it for years</p> <p>12回 10B Could be better</p> <p>13回 11C What a coincidence!</p> <p>14回 12B Gossip is good for you</p> <p>15回 Review: 9-14回</p>
授業形態	講義
達成目標	<p>①異文化や、多様な価値観を理解する上で、重要なコミュニケーションの道具としての「英語」に親しみ、英語を使つての「能動的なコミュニケーション力」を身につけること。</p> <p>②主体的に英語の学習に取り組み、国際的な視野に立つ教養人として広く世界を知り、英語を使つて積極的に世界と関わってゆく力を習得すること。</p>
評価方法	<p>①授業外で行われる「英語共通テスト」50点、</p> <p>②授業に対する積極的な姿勢や、授業内で行う小テスト、出された課題の内容及び提出状況などによる平常点と、定期試験期間中に行われる期末試験とで、50点、という配分で評価する (総合 100点満点)。</p>
評価基準	上記の評価方法で算出された100点満点の成績に対して、80-100点を優、70-79点を良、60-69点を可、59点以下を不可とする。
教科書・参考書	<p>教科書: English File: Pre-intermediate Student's Book [Third edition] (ISBN: 978-0-19-459865-1)</p> <p>*教科書は、英語IA、英語IB、英語II、英会話III、英会話IVで共通である。</p> <p>その他については、授業中に随時指示する。</p>
履修条件	<p>①クラス分けの指示に従うこと。</p> <p>②外国語のカリキュラムの系統性に従って履修すること。すなわち英語IAと英語IBの2科目4単位をすでに修得済であること(但し、特別措置として教員がその学生の状況を判断して特に履修を認めた場合は除く)。</p> <p>③主体的に学習する意欲、姿勢を持つこと。</p>
履修上の注意	<p>① 授業外で行われる「英語共通テスト」は、定期試験期間よりも前に行われる。掲示で実施期間を確認し、必ず受験すること。</p> <p>② 3分の2以上の授業に出席し、主体的に参加することが最低限必要であり、これを為さない場合は評価をしないので注意すること。</p> <p>③ 授業中に指示された自己学習については、学習支援センターや、図書館などを利用したりしながら必ず行うこと。</p>
予習・復習	<p>授業と同程度の時間を使って、教科書の内容や教員が指定した予習をするとともに、教員に指示された課題やレポートなどを行い、授業の内容をしっかりと復習し、疑問点があれば教員に質問すること。</p> <p>【*推奨】教室・図書館・学習支援センターの英語多読用図書を使って、自ら目標をたてて自主的に学習したりすることが望ましい。</p>
オフィスアワー	授業中に説明する。
備考・メッセージ	<p>* JABEE学習・教育目標 (1.4)</p> <p>* 2013年度以前入学者科目名称 : 英語IVA</p>

選択したシラバスのプレビュー画面です

2018年度 [操作ボタン](#)

講義科目名称 : **基礎英語IIA (後期1年E4, E5, E6, E7)**
英文科目名称 : **Basic English IIA**

授業コード : **17250 17251 17255**

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年次	1	選択
担当教員			
上野 誠司 (E4)、ギャリー・メイソン (E5) 上野 誠司 (E6)、若林 節子 (E7)			
全学年	全学部	週2時間	

授業概要	基礎英語IIでは、一定の英語力を身につけた学生を対象に、これまで修得してきた英語の4技能をさらにバランスよく伸ばすことを目指す。基礎英語IIAでは、reading / writing に重点がおかれ、同時期に開講する「基礎英語IIB」では、listening / speaking に重点がおかれている。 *[重要]「基礎英語IIA」は、「基礎英語IIB」とセットで構成されている科目であるので、両方の科目を同学期に履修すること。
授業計画	<p>1回 ガイダンス</p> <p>2回 1A: My name's Hannah, not Anna / B: All over the world</p> <p>3回 2A: A writer's room / B: Stars and Stripes</p> <p>4回 3A: Things I love about Britain / B: Work and play</p> <p>5回 4A: Is she his wife or his sister? / B: What a life!</p> <p>6回 5A: Do you have the X Factor? / B: Love your neighbours</p> <p>7回 6A: Reading in English / B: Times we love</p> <p>8回 7A: At the National Portrait Gallery / B: Chelsea girls</p> <p>9回 8A: A murder story / B: A house with a history</p> <p>10回 9A: What I ate yesterday / B: White gold</p> <p>11回 10A: The most dangerous road... / B: CouchSurf round the world!</p> <p>12回 11A: First impressions / B: What do you want to do?</p> <p>13回 12A: Books and films / B: I've never been there!</p> <p>14回 Revise and Check 1-6</p> <p>15回 Revise and Check 7-12</p>
授業形態	講義
達成目標	<p>① 異文化や、多様な価値観を理解する上で、重要なコミュニケーションの道具としての「英語」に慣れ親しむこと。</p> <p>② 外国語学習だけに留まらず、生涯学習にもつながる積極的な学習習慣を身につけること。主体的、積極的に英語の学習に取り組み、広く世界を知る喜びを得ること。</p>
評価方法	<p>① 授業外で行われる「英語共通テスト」50点、</p> <p>② 授業に対する積極的な姿勢や、授業内で行う小テスト、出された課題の内容及び提出状況などによる平常点と、定期試験期間中に行われる期末試験とで、50点、という配分で評価する(100点満点)。</p>
評価基準	上記の評価方法で算出された100点満点の成績に対して、80-100点を優、70-79点を良、60-69点を可、59点以下を不可とする。
教科書・参考書	教科書: English File: Elementary Student's Book [Third edition] (ISBN: 978-0-19-451788-1) *教科書は、基礎英語IIA/基礎英語IIBとは、共通である。 その他については、授業中に随時指示する。
履修条件	<p>① クラス分けの指示に従うこと。</p> <p>② 外国語のカリキュラムの系統性に従って履修すること。</p> <p>③ 主体的に学習する意欲、姿勢を持つこと。</p>
履修上の注意	<p>① 授業外で行われる「英語共通テスト」は、定期試験期間よりも前に行われる。掲示で実施期間を確認し、必ず受験すること。</p> <p>② 3分の2以上の授業に出席し、主体的に参加することが最低限必要であり、これを為さない場合は評価をしないので注意すること。</p> <p>③ 授業中に指示された自己学習については、学習支援センターや、図書館などを利用したりしながら必ず行うこと。</p>
予習・復習	授業と同程度の時間を使って、教科書の内容や教員が指定した予習、教員に指示された課題やレポートなどを学習支援センターで行い、疑問点があれば教員やセンター職員に質問すること。 [*推奨] 教室・図書館・学習支援センターの英語多読用図書を使って、自ら目標をたてて自主的に学習したりすることが望ましい。
オフィスアワー	授業中に説明する。
備考・メッセージ	<p>* JABEE学習・教育目標 (1.4)</p> <p>* 2013年度以前入学者科目名称 : 英語IIA</p>

閉じる

選択したシラバスのプレビュー画面です 2018年度 [操作ボタン](#)

講義科目名称 : **基礎英語II B (後期1年E4, E5, E6, E7)** 授業コード : **17269 17272 17278**
 英文科目名称 : **Basic English IIB**

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年次	1	選択
担当教員			
上野 誠司(E4)、ギャリー・メイソン(E5)、小田 尚子(E6)、若林 節子(E7)			
1年次以上	全学部	週2時間	

授業概要	<p>1年次・「後期」に開講する本科目は、英語カリキュラム・基礎クラスの「基礎英語 I A・B」(1年次・前期)を踏まえて行われるものである。基礎英語IIでは、一定の英語力を身につけた学生を対象に、これまで修得してきた英語の4技能をさらにバランスよく伸ばすことを目指す。基礎英語 IIBでは、listening / speaking に重点がおかれ、同時期に開講する「基礎英語 IIA」では、reading / writing に重点がおかれている。</p> <p>*[重要]「基礎英語 IIB」は、「基礎英語 IIA」とセットで構成されている科目であるので、両方の科目を同学期に履修すること</p>
授業計画	<p>1回 ガイダンス 2回 1C: Open your books, please / Practical English 1 Arriving in London 3回 2C: After 300 meters, turn right / Revise and Check 1 and 2 4回 3C: Love online / PE2: Coffee to take away 5回 4C: Short life, long life? / Revise and Check 3 and 4 6回 5C: Sun and the City / PE3: In a clothes shop 7回 6C: Music is changing their lives / Revise and Check 5 and 6 8回 7C: A night to remember / PE4: Getting lost 9回 8C: A night in a haunted hotel / Revise and Check 7 and 8 10回 9C: Quiz night / PE5: At a restaurant 11回 10C: What's going to happen? / Revise and Check 9 and 10 12回 11C: Men, women, and the Internet / PE6: Going home 13回 12C: The English File questionnaire, Revise and Check 11 and 12 14回 Review (Writing) 15回 Review (Communication)</p>
授業形態	講義
達成目標	<p>① 異文化や、多様な価値観を理解する上で、重要なコミュニケーションの道具としての「英語」に慣れ親しむこと。 ② 外国語学習だけに留まらず、生涯学習にもつながる積極的な学習習慣を身につけること。主体的、積極的に英語の学習に取り組み、広く世界を知る喜びを得ること。</p>
評価方法	<p>① 授業外で行われる「英語共通テスト」50点、 ② 授業に対する積極的な姿勢や、授業内で行う小テスト、出された課題の内容及び提出状況などによる平常点と、定期試験期間中に行われる期末試験とで、50点、という配分で評価する (総合 100点満点)。</p>
評価基準	上記の評価方法で算出された100点満点の成績に対して、80-100点を優、70-79点を良、60-69点を可、59点以下を不可とする。
教科書・参考書	<p>教科書: English File: Elementary Student's Book [Third edition] (ISBN: 97870719745178871) *教科書は、基礎英語IIA / 基礎英語IIBとは、共通である。 その他については、授業中に随時指示する。</p>
履修条件	<p>① クラス分けの指示に従うこと。 ② 外国語のカリキュラムの系統性に従って履修すること。 ③ 主体的に学習する意欲、姿勢を持つこと。</p>
履修上の注意	<p>① 授業外で行われる「英語共通テスト」は、定期試験期間よりも前に行われる。掲示で実施期間を確認し、必ず受験すること。 ② 3分の2以上の授業に出席し、主体的に参加することが最低限必要であり、これを為さない場合は評価をしないので注意すること。 ③ 授業中に指示された自己学習については、学習支援センターや、図書館などを利用したりしながら必ず行うこと。</p>
予習・復習	<p>授業と同程度の時間を使って、教科書の内容や教員が指定した予習、教員に指示された課題やレポートなどを学習支援センターで行い、疑問点があれば教員やセンター職員に質問すること。 [*推奨] 教室・図書館・学習支援センターの英語多読用図書を使って、自ら目標をたてて自主的に学習したりすることが望ましい。</p>
オフィスアワー	授業中に説明する。
備考・メッセージ	<p>* JABEE学習・教育目標 (1.4) * 2013年度以前入学者科目名称 : 英語IIB</p>

閉じる

選択したシラバスのプレビュー画面です 2018年度 [操作ボタン](#)

講義科目名称 : 英語 I A (後期1年E2, E3) 授業コード : 17254 17283 17284 17285
 英文科目名称 : English IA

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年次	2	選択
担当教員			
パスカル ヤマック(E2)、アンドリュー・ウィリアムズ (E3)			
1年次	全学部	週2時間	

授業概要	<p>本科目は、英語カリキュラムの「基礎英語ⅡA・B」を踏まえて行われるものである。英語Ⅰでは、すでに一定の英語力を身につけた学生を対象に、これまで修得してきた英語の4技能を駆使して「能動的に英語を使う能力」を培うことを目指す。同Aでは基礎英語ⅡIAに引き続き、reading/writingに重点が置かれ、同時期に開講する「英語ⅡB」では、listening/speakingに重点が置かれる。</p> <p>*【重要】「英語ⅡA」は、「英語ⅡB」とセットで構成されている科目であるので、両方の科目を同学期に履修すること。</p>
授業計画	<p>1回 ガイダンス 2回 1A: Where are you from? 3回 1C: Mr and Mrs Clark and Percy 4回 2A: Right place, wrong person 5回 2C: One dark October evening 6回 3A: Plans and dreams 7回 3C: What's the word? 8回 4A: Parents and teenagers 9回 4C: Lost weekend 10回 5A: No time for anything 11回 5C: How much is too much? 12回 6A: Are you a pessimist? 13回 6C: The meaning of dreaming 14回 Review (Vocabulary Bank) 15回 Review (Grammar Bank)</p>
授業形態	講義
達成目標	<p>①異文化や、多様な価値観を理解する上で、重要なコミュニケーションの道具としての「英語」に親しみ、英語を使つての「能動的なコミュニケーション力」を身につけること。 ②主体的、積極的に英語の学習に取り組み、広く世界を知る喜びを得ること。</p>
評価方法	<p>①授業外で行われる「英語共通テスト」50点、 ②授業に対する積極的な姿勢や、授業内で行う小テスト、出された課題の内容及び提出状況などによる平常点と、定期試験期間中に行われる期末試験とで、50点、という配分で評価する(総合100点満点)</p>
評価基準	上記の評価方法で算出された100点満点の成績に対して、80-100点を優、70-79点を良、60-69点を可、59点以下を不可とする。
教科書・参考書	<p>教科書: English File: Pre-intermediate Student's Book [Third edition] (ISBN: 978-0-19-459865-1) *教科書は、英語ⅡA、英語ⅡB、英語ⅡC、英会話Ⅲ、英会話Ⅳで共通である。 その他については授業中に提示する。</p>
履修条件	<p>①クラス分けの指示に従うこと。 ②外国語のカリキュラムの系統性に従って履修すること。すなわち基礎英語ⅡAと基礎英語ⅡBの2科目2単位をすでに修得済みであること(但し、特別措置として教員がその学生の状況を判断して特に履修を認めた場合は除く。) ③主体的に学習する意欲、姿勢を持つこと。</p>
履修上の注意	<p>① 授業外で行われる「英語共通テスト」は、定期試験期間よりも前に行われる。掲示で実施期間を確認し、必ず受験すること。 ② 3分の2以上の授業に出席し、主体的に参加することが最低限必要であり、これを為さない場合は評価をしないので注意すること。 ③ 授業中に指示された自己学習については、学習支援センターや、図書館などを利用したりしながら必ず行うこと。</p>
予習・復習	<p>授業と同程度の時間を使って、教科書の内容や教員が指定した予習をするとともに、教員に指示された課題やレポートなどを行い、授業の内容をしっかりと復習し、疑問点があれば教員に質問すること。 [*推奨] 教室・図書館・学習支援センターの英語多読用図書を使って、自ら目標をたてて自主的に学習したりすることが望ましい。</p>
オフィスアワー	授業中に説明する。
備考・メッセージ	<p>* JABEE学習・教育目標 (1.4) * 2013年度以前入学者科目名称 : 英語ⅢIA</p>

選択したシラバスのプレビュー画面です 2018年度 [操作ボタン](#)

講義科目名称 : 英語 I B (後期1年E2, E3)
英文科目名称 : English IB

授業コード : 17130 17131 17132 17133 17134

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年次	2	選択
担当教員			
パスカル・ヤマック(E2)、アンドリュー・ウィリアムズ(E3)			
2年次以上	全学部	週2時間	

授業概要	<p>本科目は、英語カリキュラム「基礎英語IIA・B」を踏まえて行われるものである。英語Iでは、すでに一定の英語力を身につけた学生を対象に、これまで修得してきた英語の4技能をさらにバランスよく伸ばすことを目指す。「英語IB」では基礎英語IIBに引き続き、listening / speaking に重点がおかれ、同時期に開講する「英語IA」では、reading / writing に重点がおかれている。</p> <p>*[重要] 「英語IB」は、「英語IA」とセットで構成されている科目であるので、両方の科目を同学期に履修すること。</p>
授業計画	<p>1回 ガイダンス 2回 1B: Charlotte's choice 3回 1 Practical English: Hotel Problems 4回 2B: The story behind the photo 5回 Revise and Check 1 and 2 6回 3B: Let's meet again 7回 3 Practical English: Restaurant Problems 8回 4B: Fashion and shopping 9回 Revise and Check 3 and 4 10回 5B: Superlative cities 11回 5 Practical English: The wrong shoes 12回 6B: I'll never forget you 13回 Revise and Check 5 and 6 14回 Review (Writing) 15回 Review (Communication)</p>
授業形態	講義
達成目標	<p>①異文化や、多様な価値観を理解する上で、重要なコミュニケーションの道具としての「英語」に親しみ、英語を使つての「能動的なコミュニケーション力」を身につけること。 ②主体的、積極的に英語の学習に取り組み、国際人として広く世界を知ること。</p>
評価方法	<p>①授業外で行われる「英語共通テスト」50点、 ②授業に対する積極的な姿勢や、授業内で行う小テスト、出された課題の内容及び提出状況などによる平常点と、定期試験期間中に行われる期末試験とで、50点、という配分で評価する(100点満点)。</p>
評価基準	<p>上記の評価方法で算出された100点満点の成績に対して、80-100点を優、70-79点を良、60-69点を可、59点以下を不可とする。</p>
教科書・参考書	<p>教科書: English File: Pre?intermediate Student's Book [Third edition] (ISBN: 97870719745986571) *教科書は、英語IAと英語IBとは、共通である。 その他については、授業中に随時指示する。</p>
履修条件	<p>①クラス分けの指示に従うこと。 ②外国語のカリキュラムの系統性に従って履修すること。すなわち基礎英語IIAと基礎英語IIBの2科目2単位をすでに修得済みであること(但し、特別措置として教員がその学生の状況を判断して特に履修を認めた場合は除く。) ③主体的に学習する意欲、姿勢を持つこと。</p>
履修上の注意	<p>① 授業外で行われる「英語共通テスト」は、定期試験期間よりも前に行われる。掲示で実施期間を確認し、必ず受験すること。 ② 3分の2以上の授業に出席し、主体的に参加することが最低限必要であり、これを為さない場合は評価をしないので注意すること。 ③ 授業中に指示された自己学習については、学習支援センターや、図書館などを利用したりしながら必ず行うこと。</p>
予習・復習	<p>授業と同程度の時間を使って、教科書の内容や教員が指定した予習をするとともに、教員に指示された課題やレポートなどを行い、授業の内容をしっかりと復習し、疑問点があれば教員に質問すること。 [*推奨] 教室・図書館・学習支援センターの英語多読用図書を使って、自ら目標をたてて自主的に学習したりすることが望ましい。</p>
オフィスアワー	授業中に説明する。
備考・メッセージ	<p>* JABEE学習・教育目標 (1.4) * 2013年度以前入学者科目名称 : 英語IIIB</p>

選択したシラバスのプレビュー画面です

2018年度 [操作ボタン](#)

講義科目名称 : 英語Ⅱ (後期1年E1, 2年E5, E6, E7)

授業コード : 17264 17265 17270 17277 17278

英文科目名称 : English II

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年次	2	選択
担当教員			
中島恭子(1年E1, 2年E7), アンドリュー・ウィリアムズ(2年E5), ギャリー・メイソン(2年E6)			
1/2年次	全学部	週2時間	

授業概要	本科目は、英語カリキュラムの「英語IA・B」を踏まえて行われるものである。英語IIでは、「英語IA・B」で修得した英語の4技能をさらにバランスよく伸ばし、それらを用いて多様な場面での「能動的なコミュニケーション力」を培うことを目指す。
授業計画	<p>1回 ガイダンス</p> <p>2回 7A: How to... / B: Being happy</p> <p>3回 7C: Learn a language in a month / PE: At the pharmacy</p> <p>4回 8A: I don't know what to do / B: If something can go wrong,...</p> <p>5回 8C: You must be mine / Revise and Check 7 and 8</p> <p>6回 9A: What would you do / B: I've been afraid of it for years</p> <p>7回 9C: Born to sing / PE: Getting around</p> <p>8回 10A: The mothers of invention / B: Could do better</p> <p>9回 10C: Mr Indecisive / Revise and Check 9 and 10</p> <p>10回 11A: Bad losers / B: Are you a morning person?</p> <p>11回 11C: What a coincidence! / PE: Time to go home</p> <p>12回 12A: Strange but true! / B: Gossip is good for you</p> <p>13回 12C: The English File quiz / Revise and Check 11 and 12</p> <p>14回 Review (Vocabulary Bank)</p> <p>15回 Review (Grammar Bank)</p>
授業形態	講義
達成目標	<p>①異文化や、多様な価値観を理解する上で、重要なコミュニケーションの道具としての「英語」に親しみ、英語を使つての「能動的なコミュニケーション力」を身につけること。</p> <p>②主体的に英語の学習に取り組み、国際的な視野に立つ教養人として広く世界を知り、英語を使つて積極的に世界と関わってゆか力を習得すること。</p>
評価方法	<p>①授業外で行われる「英語共通テスト」50点、</p> <p>②授業に対する積極的な姿勢や、授業内で行う小テスト、出された課題の内容及び提出状況などによる平常点と、定期試験期間中に行われる期末試験とで、50点、という配分で評価する (総合 100点満点)。</p>
評価基準	上記の評価方法で算出された100点満点の成績に対して、80-100点を優、70-79点を良、60-69点を可、59点以下を不可とする。
教科書・参考書	<p>教科書: English File: Pre-intermediate Student's Book [Third edition] (ISBN: 978-0-19-459865-1)</p> <p>*教科書は、英語IA、英語IB、英語II、英会話III、英会話IVで共通である。</p> <p>その他については、授業中に随時指示する。</p>
履修条件	<p>①クラス分けの指示に従うこと。</p> <p>②外国語のカリキュラムの系統性に従って履修すること。すなわち英語IAと英語IBの2科目4単位をすでに修得済であること(但し、特別措置として教員がその学生の状況を判断して特に履修を認めた場合は除く)。</p> <p>③主体的に学習する意欲、姿勢を持つこと。</p>
履修上の注意	<p>① 授業外で行われる「英語共通テスト」は、定期試験期間よりも前に行われる。掲示で実施期間を確認し、必ず受験すること。</p> <p>② 3分の2以上の授業に出席し、主体的に参加することが最低限必要であり、これを為さない場合は評価をしないので注意すること。</p> <p>③ 授業中に指示された自己学習については、学習支援センターや、図書館などを利用したりしながら必ず行うこと。</p>
予習・復習	<p>授業と同程度の時間を使って、教科書の内容や教員が指定した予習をするとともに、教員に指示された課題やレポートなどを行い、授業の内容をしっかりと復習し、疑問点があれば教員に質問すること。</p> <p>[*推奨] 教室・図書館・学習支援センターの英語多読用図書を使って、自ら目標をたてて自主的に学習したりすることが望ましい。</p>
オフィスアワー	授業中に説明する。
備考・メッセージ	<p>* JABEE学習・教育目標 (1.4)</p> <p>* 2013年度以前入学者科目名称 : 英語IVA</p>

選択したシラバスのプレビュー画面です

2018年度 [操作ボタン](#)

講義科目名称 : 英語Ⅲ (後期・1年E0組)
英文科目名称 : English III

授業コード : 17157

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年次	2	選択
担当教員			
若林 節子			
1年次	全学部	週2時間	

授業概要	<p>本科目は、「英語II」を踏まえて行われるものである。</p> <p>この科目は、受講前に「自習課題」があり、その課題をこなしつつ、授業では(1) Reading skills、(2) Critical Thinking、(3) Academic Writing skillsについて講義と演習を通して、読解力と文章力を鍛える。授業の終わりには、次週までの「次週課題」が出される。英語力をつけるためには、受信より発信型の自己鍛錬が基本である事をよく理解して頑張るとい授業運びになっている。</p>
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーションと講義説明。2週目の課題 (Unit 1) 2. Unit 1: Reading Skills (Key vocabulary), Academic Writing Skills (Use capital letters and full stops) 3. U2: RS (Making predictions), AWS (Paragraph organization 1) 4. U3: RS (Scanning/Skimming), AWS (Paragraph organization 2) 5. U4: RS (Making inferences), AWS (Topic sentences) 6. U5: RS (Reading for main ideas), AWS (Supporting sentences) 7. まとめ (1) 8. U6-1: RS (Using your knowledge 1), AWS (Describing a graph 1) 9. U6-2: RS (Using your knowledge 2), AWS (Describing a graph 2) 10. U7: RS (Reading between the lines), AWS (Ordering events in a process) 11. U8: RS (Scanning to predict content), AWS (Adding detail) 12. U9: RS (Reading for detail), AWS (Concluding sentences) 13. U10-1: RS (Scanning for information 1), AWS (Essay organization 1) 14. U10-1: RS (Scanning for information 2), AWS (Essay organization 2) 15. まとめ (2)
授業形態	講義
達成目標	<p>幅広いTopicsから、英語で情報を見聞き・読み書きすることによって、</p> <p>(1) 物の見方・考え方を学び、(2) 多様な知識を得て、理解を深め、それについて客観的な評価を加えることができる力を養うこと。</p> <p>その力をもって、Essayを英語で書くことができること。</p>
評価方法	<p>講義への取り組み (授業期間内の課題と期末課題テスト) で50点、</p> <p>授業外で行われる「英語共通テスト」で50点、</p> <p>という配分で評価する (100点満点)。</p>
評価基準	<p>上記の評価方法で算出された100点満点の成績に対して、</p> <p>80-100点を優、70-79点を良、60-69点を可、59点以下を不可とする。</p>
教科書・参考書	Unlock Reading and Writing Skills 2, Cambridge University Press, ISBN 978-1-107-61400-0.
履修条件	<p>①外国語のカリキュラムの系統性に従って履修すること。即ち、英語IIの単位をすでに修得済であること (但し、特別措置として教員がその学生の状況を判断して特に履修を認めた場合は除く)。</p> <p>②「英語共通テスト」の成績 (CSEスコア) は、900点以上が必須である。</p> <p>(「英語共通テスト」の成績は、基礎語彙・基礎文法力を習得を示唆する)</p>
履修上の注意	<p>① 授業外で行われる「英語共通テスト」は、定期試験期間よりも前に行われる。掲示で実施期間を確認し、必ず受験すること。</p> <p>② 3分の2以上の授業に出席し、主体的に参加することが最低限必要であり、これを為さない場合は評価をしないので注意すること。</p> <p>③ 練習量は豊富で、また、進むペースは速いので、しっかり課題をこなして用意して授業に臨むこと。</p>
予習・復習	各自授業の予習・復習課題をすること。疑問点や質問があれば担当教員にすること。
オフィスアワー	授業中に説明する。
備考・メッセージ	<p>* JABEE学習・教育目標 (1.4)</p> <p>2013年度以前入学者科目名称 : 英語IVB</p>

閉じる

選択したシラバスのプレビュー画面です 2018年度 [操作ボタン](#)

講義科目名称 : **基礎英語 I A【再履修】** 授業コード : **17252**
 英文科目名称 : **Basic English IA**

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年次	1	選択
担当教員			
上野 誠司			
全学年	全学部	週2時間	

授業概要	<p>本科目は、英語カリキュラムのスタートに位置づけられるものである。基礎英語Iでは、英語に苦手意識を持っている学生や英語力を十分に発揮できない学生を対象に、英語の基礎に立ち返り、これまでに修得してきた英語力を再構築して、その力をバランスよく伸ばすことを目指す。基礎英語 IAでは、reading / writingに重点がおかれ、同時期に開講する「基礎英語 IB」では、listening / speakingに重点がおかれている。</p> <p>*[重要]「基礎英語 IA」は、「基礎英語 IB」とセットで構成されている科目であるので、両方の科目を同学期に履修すること。</p>
授業計画	<p>1回 ガイダンス 2回 1A Hello! 3回 2A We aren't English. We're American. 4回 3A What's in your bag? 5回 4A Family and friends 6回 5A Breakfast around the world 7回 6A She works for Armani. 8回 Review: 1-6 9回 7A What do you do in your free time? 10回 8A Can you start the car, please? 11回 9A What are they doing? 12回 10A Is there really a monster? 13回 11A It changed my life. 14回 12A Strangers in a train 15回 Review: 7-12</p>
授業形態	講義
達成目標	<p>① 異文化や、多様な価値観を理解する上で、重要なコミュニケーションの道具としての「英語」に慣れ親しむこと。 ② 外国語学習だけに留まらず、生涯学習にもつながる積極的な学習習慣を身につけること。主体的、積極的に英語の学習に取り組み、広く世界を知る喜びを得ること。</p>
評価方法	<p>① 授業外で行われる「英語共通テスト」50点、 ② 授業に対する積極的な姿勢や、授業内で行う小テスト、出された課題の内容及び提出状況などによる平常点と、定期試験期間中に行われる期末試験とで、50点、という配分で評価する (総合 100 点満点)。</p>
評価基準	<p>上記の評価方法で算出された100点満点の成績に対して、 80-100点を優、70-79点を良、60-69点を可、59点以下を不可とする。</p>
教科書・参考書	<p>教科書: English File Beginner Student's Book with iTutor [Third edition] (ISBN: 978-0-19-450183-5) *教科書は、基礎英語IAと基礎英語IBとは、共通である。 その他については、授業中に随時指示する。</p>
履修条件	<p>① クラス分けの指示に従うこと。 ② 外国語のカリキュラムの系統性に従って履修すること。 ③ 主体的に学習する意欲、姿勢を持つこと。</p>
履修上の注意	<p>① 授業外で行われる「英語共通テスト」は、定期試験期間よりも前に行われる。掲示で実施期間を確認し、必ず受験すること。 ② 3分の2以上の授業に出席し、主体的に参加することが最低限必要であり、これを為さない場合は評価をしないので注意すること。 ③ 授業中に指示された自己学習については、学習支援センターや、図書館などを利用したりしながら必ず行うこと。</p>
予習・復習	<p>授業と同程度の時間を使って、教科書の内容や教員が指定した予習、教員に指示された課題やレポートなどを学習支援センターで行い、疑問点があれば教員やセンター職員に質問すること。 [*推奨] 教室・図書館・学習支援センターの英語多読用図書を使って、自ら目標をたてて自主的に学習したりすることが望ましい。</p>
オフィスアワー	授業中に説明する。
備考・メッセージ	<p>* JABEE学習・教育目標 (1.4) * 2013年度以前入学者科目名称: 英語IA</p>

選択したシラバスのプレビュー画面です 2018年度 [操作ボタン](#)

講義科目名称 : **基礎英語IB【再履修】**
英文科目名称 : **Basic English IB**

授業コード : **17109**

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年次	1	選択
担当教員			
上野 誠司			
全学年	全学部	週2時間	

授業概要	<p>本科目は、英語カリキュラム・基礎クラスのスタートに位置づけられるものである。基礎英語Iでは、英語に苦手意識を持っている学生や英語力を十分に発揮できない学生を対象に、英語の基礎に立ち返り、これまでに修得してきた英語力を再構築して、その力をバランスよく伸ばすことを目指す。「基礎英語 IB」では、listening / speaking に重点がおかれ、同時期に開講する基礎英語 IAではreading / writingに重点がおかれている。</p> <p>*[重要]「基礎英語 IB」は、「基礎英語 IA」とセットで構成されている科目であるので、両方の科目を同学期に履修すること。</p>
授業計画	<p>1回 ガイダンス 2回 1B Where are you from? 3回 2B What's your phone number? 4回 3B Is that a hat? 5回 4B Big cars or small cars? 6回 5B A very long flight 7回 6B A day in my life 8回 Review: Units 1-6 9回 7B Lights, camera, action! 10回 8B What do you like doing? 11回 9B Working undercover 12回 10B Before they were famous... and after 13回 11B Life in a day 14回 12B A weekend in Venice 15回 Review: Units 7-12</p>
授業形態	講義
達成目標	<p>① 異文化や、多様な価値観を理解する上で、重要なコミュニケーションの道具としての「英語」に慣れ親しむこと。 ② 外国語学習だけに留まらず、生涯学習にもつながる積極的な学習習慣を身につけること。主体的、積極的に英語の学習に取り組み、広く世界を知る喜びを得ること。</p>
評価方法	<p>① 授業外で行われる「英語共通テスト」50点、 ② 授業に対する積極的な姿勢や、授業内で行う小テスト、出された課題の内容及び提出状況などによる平常点と、定期試験期間中に行われる期末試験とで、50点、という配分で評価する (総合 100 点満点)。</p>
評価基準	上記の評価方法で算出された100点満点の成績に対して、80-100点を優、70-79点を良、60-69点を可、59点以下を不可とする。
教科書・参考書	<p>教科書: English File Beginner Student's Book with iTutor [Third edition] (ISBN: 978-0-19-450183-5) *教科書は、基礎英語IAと基礎英語IBとは、共通である。 その他については、授業中に随時指示する。</p>
履修条件	<p>①クラス分けの指示に従うこと。 ②外国語のカリキュラムの系統性に従って履修すること。 ③主体的に学習する意欲、姿勢を持つこと。</p>
履修上の注意	<p>① 授業外で行われる「英語共通テスト」は、定期試験期間よりも前に行われる。掲示で実施期間を確認し、必ず受験すること。 ② 3分の2以上の授業に出席し、主体的に参加することが最低限必要であり、これを為さない場合は評価をしないので注意すること。 ③ 授業中に指示された自己学習については、学習支援センターや、図書館などを利用したりしながら必ず行うこと。</p>
予習・復習	<p>授業と同程度の時間を使って、教科書の内容や教員が指定した予習、教員に指示された課題やレポートなどを学習支援センターで行い、疑問点があれば教員やセンター職員に質問すること。 [*推奨] 教室・図書館・学習支援センターの英語多読用図書を使って、自ら目標をたてて自主的に学習したりすることが望ましい。</p>
オフィスアワー	授業中に説明する。
備考・メッセージ	<p>* JABEE学習・教育目標 (1.4) * 2013年度以前入学者科目名称: 英語IB</p>

選択したシラバスのプレビュー画面です 2018年度 [操作ボタン](#)

講義科目名称 : **日本語 I A 1組** 授業コード : **17112**
 英文科目名称 : **Japanese I A**

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年次	2	選択必修 (留学生)
担当教員			
桑戸孝子			
1年次以上	全学部 (留学生)	週4時間	

授業概要	<p>本科目では、大学での講義・演習に参加するために必要な日本語能力の基礎を養成する。 あるテーマについて書かれたテキストを読み解きながら、言葉や表現・文法等の練習を通して日本語の運用能力を向上させる。また、調べたことや自分の意見を口頭で表現する活動も行ふ。さらに、語彙力を高めるため、N2の言葉についても学習する。</p>
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. クラスオリエンテーション+ N2チェック問題 2. L1「10代のうちに考えておくこと」言葉・文法+N2の言葉 3. 読解+N2小テスト 4. 討論+N2言葉 5. 宿題チェック+N2小テスト 6. N2読解+N2言葉 7. L2「草は生きているか」言葉・文法+N2小テスト 8. 読解+N2言葉 9. 討論+N2小テスト 10. 宿題チェック+N2言葉&聴解 11. N2読解+N2小テスト 12. L3「仕事選び」言葉・文法+N2言葉 13. 読解+N2小テスト 14. 討論+N2言葉 15. 宿題チェック+N2小テスト&聴解 16. N2読解+N2言葉 17. L4「障がいと私」言葉・文法+N2小テスト 18. 読解+N2言葉 19. 討論+N2小テスト 20. 宿題チェック+N2言葉&聴解 21. N2読解+N2小テスト 22. L5「フィンランドの学校で」言葉・文法+N2言葉 23. 読解+N2小テスト 24. 討論+N2言葉 25. 宿題チェック+N2小テスト&聴解 26. N2読解+N2言葉 27. L6「マニユアル社会」言葉・文法+N2小テスト 28. 読解+N2言葉 29. 討論+N2小テスト 30. 宿題チェック+まとめ
授業形態	<p>講義 授業は、内容理解問題やテーマに関する設問についてクラスメートと話し合いながら進めていく。</p>
達成目標	<ol style="list-style-type: none"> ①テキストを読み解き、内容を十分に理解する力を身につける。 ②あるテーマについて、自分自身で調べたり考えたりする力を養う。 ③自分の意見を適切な表現を用いて発表したり文章化したりできる日本語力を身につける。
評価方法	<p>①クラス参加度 (10%)、②授業態度 (10%)、③課題 (30%)、④試験 (50%)、という配分で評価する。 なお、③の課題については、課題提出回数および課題の質により評価する。</p>
評価基準	<p>上記の評価方法で算出された100点満点の成績に対して、 80-100点を優、70-79点を良、60-69点を可、59点以下を不可とする。</p>
教科書・参考書	<p>教科書：『話す・書くにつながる！日本語読解 (中級)』 (アルク) 参考図書：日本語能力試験N2問題集 (図書館および桑戸研究室にあります。必要な学生には貸し出しも行います)</p>
履修条件	留学生のみ
履修上の注意	予習・復習をすること
予習・復習	<p>予習：次回の授業内容の範囲について、必ず準備をしておくこと。準備は週によって違う。読解の前には本文の予習を、発表の前には発表の準備をするなど、きちんとしておくこと。予習内容については、毎週教師が具体的に連絡する。 復習：教科書や授業で学んだことをノートに整理すること。また、授業中に学習した練習問題を見直し理解を深めること。ノートは課題の一部として提出してもらい教師がチェックする。</p>
オフィスアワー	水曜2限目

	上記以外でも時間があるときはいつでも質問に応じる。
備考・メッセージ	学生の日本語力によっては、教材の変更もありうる。

閉じる

選択したシラバスのプレビュー画面です

2018年度 [操作ボタン](#)

講義科目名称：日本語ⅠA 2組
英文科目名称：JapaneseⅠA

授業コード：17128

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年次	2	選択必修（留学生）
担当教員			
桑戸孝子			
1年次以上	全学部（留学生）	週4時間	

授業概要	本科目では、大学での講義・演習に参加するために必要な日本語能力の基礎を養成する。 あるテーマについて書かれたテキストを読み解きながら、言葉や表現・文法等の練習を通して日本語の運用能力を向上させる。また、調べたことや自分の意見を口頭で表現する活動も行ふ。さらに、語彙力を高めるため、N2の言葉についても学習する。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. クラスオリエンテーション+ N2チェック問題 2. L1「10代のうちに考えておくこと」言葉・文法+N2の言葉 3. 読解+N2小テスト 4. 討論+N2言葉 5. 宿題チェック+N2小テスト 6. N2読解+N2言葉 7. L2「草は生きているか」言葉・文法+N2小テスト 8. 読解+N2言葉 9. 討論+N2小テスト 10. 宿題チェック+N2言葉&聴解 11. N2読解+N2小テスト 12. L3「仕事選び」言葉・文法+N2言葉 13. 読解+N2小テスト 14. 討論+N2言葉 15. 宿題チェック+N2小テスト&聴解 16. N2読解+N2言葉 17. L4「障がいと私」言葉・文法+N2小テスト 18. 読解+N2言葉 19. 討論+N2小テスト 20. 宿題チェック+N2言葉&聴解 21. N2読解+N2小テスト 22. L5「フィンランドの学校で」言葉・文法+N2言葉 23. 読解+N2小テスト 24. 討論+N2言葉 25. 宿題チェック+N2小テスト&聴解 26. N2読解+N2言葉 27. L6「マニユアル社会」言葉・文法+N2小テスト 28. 読解+N2言葉 29. 討論+N2小テスト 30. 宿題チェック+まとめ
授業形態	講義 授業は、内容理解問題やテーマに関する設問についてクラスメートと話し合いながら進めていく。
達成目標	<ol style="list-style-type: none"> ①テキストを読み解き、内容を十分に理解する力を身につける。 ②あるテーマについて、自分自身で調べたり考えたりする力を養う。 ③自分の意見を適切な表現を用いて発表したり文章化したりできる日本語力を身につける。
評価方法	①クラス参加度（10%）、②授業態度（10%）、③課題（30%）、④試験（50%）、という配分で評価する。 なお、③の課題については、課題提出回数および課題の質により評価する。
評価基準	上記の評価方法で算出された100点満点の成績に対して、 80-100点を優、70-79点を良、60-69点を可、59点以下を不可とする。
教科書・参考書	教科書：『話す・書くにつながる！日本語読解（中級）』（アルク） 参考図書：日本語能力試験N2問題集（図書館および桑戸研究室にあります。必要な学生には貸し出しも行います）
履修条件	留学生のみ
履修上の注意	予習・復習をすること
予習・復習	予習：次回の授業内容の範囲について、必ず準備をしておくこと。準備は週によって違う。読解の前には本文の予習を、発表の前には発表の準備をするなど、きちんとしておくこと。予習内容については、毎週教師が具体的に連絡する。 復習：教科書や授業で学んだことをノートに整理すること。また、授業中に学習した練習問題を見直し理解を深めること。ノートは課題の一部として提出してもらい教師がチェックする。
オフィスアワー	水曜2限目

	上記以外でも時間があるときはいつでも質問に応じる。
備考・メッセージ	学生の日本語力によっては、教材の変更もありうる。

閉じる

選択したシラバスのプレビュー画面です

2018年度 [操作ボタン](#)

講義科目名称 : **日本語 I B**
英文科目名称 : **Japanese I B**

授業コード : **17137**

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年次	2	選択必修 (留学生)
担当教員			
渡部裕子			
1年次以上	全学部 (留学生)	週4時間	

授業概要	<p>本科目は日本語を母語としない留学生を対象とした科目である。大学で学ぶ上で必要な作文技術の基礎を身につけることを目的とする。論理的な文章を書くための「段落構成」および場面やテーマに応じた文章を書くために必要な「表現・文法」などを学ぶ。授業は講義形式ではなく、学生自身が練習問題に取り組む形式で進められる。それにより、学生の気づきを促し、文型・表現・展開パターンなどの作文技術の習得を促進する。また、課題テーマに沿った作文を書くことにより、まずは日本語で書くという作業に慣れることも目標とする。</p>
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション①自分自身の考えを述べる「日本への留学」ディスカッション 2. 「日本への留学」アウトライン作成 3. 文型・表現 4. 文章作成 5. ペアで読み合う 6. 校正する 7. 表現力を高める (N2) 8. 表現力を高める (N2) 9. ②システムを説明し、その課題を書く「自国の教育制度について」ディスカッション 10. 「自国の教育制度について」アウトライン作成 11. 文型・表現 12. 文章作成 13. ペアで読み合う 14. 校正する 15. 表現力を高める (N2) 16. 表現力を高める (N2) 17. ③長所や利点を述べる「(紹介したいもの・人・企業など)」ディスカッション、アウトライン作成 18. 「(紹介したいもの・人・企業など)」アウトライン作成、調べる 19. 文型・表現 20. 文章作成 21. ペアで読み合う 22. 校正する 23. 表現力を高める (N2) 24. 表現力を高める (N2) 25. ④文章をスピーチ原稿に変えるー「(①～③のいずれか)」スピーチの構成と表現 26. スピーチ原稿作成 27. スピーチ原稿校正 28. スピーチ発表練習 29. スピーチ発表 30. まとめ
授業形態	講義。ペアワークやディスカッションを取り入れながら進める。
達成目標	<ol style="list-style-type: none"> ①あるテーマについて多面的な視点が持てるようになる ②自分の考えを600～800字程度の文章で伝えるために必要な構成力や表現を身につける ③文章とスピーチ原稿の違いを身につける
評価方法	①クラス参加度 (20%)、②課題提出 (50%)、③スピーチ (10%)、④授業内の小テスト (20%) 尚、②の課題提出については、提出回数及び課題の質によって評価する。
評価基準	100点満点の成績に対して、80-100点を優、70-79点を良、60-69点を可、59点以下を不可とする。
教科書・参考書	担当教員がプリントを配布する。参考書は授業内で紹介する。
履修条件	留学生のみ
履修上の注意	特になし
予習・復習	予習：テーマに沿ったアウトラインを考え、文章を作成する (40時間)。復習：授業で学習した語彙や文型を整理し、理解を深める(20時間)。
オフィスアワー	講義中に指示する。
備考・メッセージ	学生の日本語力によってテーマの変更があり得る

選択したシラバスのプレビュー画面です 2018年度 [操作ボタン](#)

講義科目名称 : **日本語IIA** 授業コード : **17262**
 英文科目名称 : **Japanese IIA**

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年次	2	選択必修(留学生)
担当教員			
桑戸孝子			
1年次以上	全学部(留学生)	週4時間	

授業概要	<p>本科目は、前期「日本語 I A」に続く科目である。</p> <p>本科目では、大学での講義・演習に参加するために必要な日本語能力の基礎を養成する。あるテーマについて書かれたテキストを読み解きながら、表現・文法・討論等のタスクを通して日本語の運用能力を向上させる。また、テキストの内容を再構築したり、調べたことや自分の意見を口頭で表現する活動も行う。さらに、語彙力を高めるため、N2の言葉についても学習する。</p>
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. クラスオリエンテーション+ N2チェック問題 2. L7「遺伝子検査」言葉・文法+N2の言葉 3. 読解+N2小テスト 4. 討論+N2言葉 5. 宿題チェック+N2小テスト 6. N2読解+N2言葉 7. L8「コミュニケーションの日本語」言葉・文法+N2小テスト 8. 読解+N2言葉 9. 討論+N2小テスト 10. 宿題チェック+N2言葉&聴解 11. N2読解+N2小テスト 12. L9「丸裸の山で」言葉・文法+N2言葉 13. 読解+N2小テスト 14. 討論+N2言葉 15. 宿題チェック+N2小テスト&聴解 16. N2読解+N2言葉 17. L10「何かを選択すればゴールに近づく」言葉・文法+N2小テスト 18. 読解+N2言葉 19. 討論+N2小テスト 20. 宿題チェック+N2言葉&聴解 21. N2読解+N2小テスト 22. L11「とても大事な水の話」言葉・文法+N2言葉 23. 読解+N2小テスト 24. 討論+N2言葉 25. 宿題チェック+N2小テスト&聴解 26. N2読解+N2言葉 27. L12「見通す力」言葉・文法+N2小テスト 28. 読解+N2言葉 29. 討論+N2小テスト 30. 宿題チェック+まとめ
授業形態	<p>講義</p> <p>授業は、内容理解問題やテーマに関する設問についてクラスメートと話し合いながら進めていく。</p>
達成目標	<ol style="list-style-type: none"> ①テキストを読み解き、内容を十分に理解する力を身につける。 ②あるテーマについて、自分自身で調べたり考えたりする力を養う。 ③自分の意見を適切な表現を用いて発表したり文章化したりできる日本語力を身につける。
評価方法	<p>①クラス参加度(10%)、②授業態度(10%)、③課題提出(30%)、④試験(50%)という配分で評価する。</p> <p>なお、③課題提出については、提出回数および課題の質によって評価する。</p>
評価基準	<p>上記の評価方法で算出された100点満点の成績に対して、80-100点を優、70-79点を良、60-69点を可、59点以下を不可とする。</p>
教科書・参考書	<p>教科書：『話す・書くにつながる！日本語読解(中級)』(アルク)</p> <p>参考図書：日本語能力試験N2問題集(図書館および桑戸研究室にあります。必要な学生には貸し出しも行います)</p>
履修条件	留学生のみ
履修上の注意	予習・復習をすること
予習・復習	<p>予習：次回の授業内容の範囲について、必ず準備をしておくこと。準備は週によって違う。読解の前には本文の予習を、発表の前には発表の準備をするなど、きちんとしておくこと。予習内容については、毎週教師が具体的に連絡する。</p> <p>復習：教科書や授業で学んだことをノートに整理すること。また、授業中に学習した練習問題を見直し理解を深めること。ノートは課題の一部として提出してもらい教師がチェックする。</p>

オフィスアワー	水曜2限目 上記以外でも時間があるときはいつでも質問に応じる。
備考・メッセージ	学生の日本語力によっては教材の変更もあり得る。

閉じる

選択したシラバスのプレビュー画面です 2018年度 [操作ボタン](#)

講義科目名称 : **日本語ⅡB**
英文科目名称 : **Japanese IIB**

授業コード : **17274**

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年次	2	選択必修(留学生)
担当教員			
渡部裕子			
1年次以上	全学部(留学生)	週4時間	

授業概要	<p>本科目は「日本語Ⅰ」に続く科目であり、大学でのレポート作成の基礎となる日本語の論理的な文章力を身につけることを目的とします。社会に関わるテーマについて、自分で調べたり、ディスカッションを通じて情報を整理し、自分の意見をまとめます。それらを論理的に構成したアウトラインを作成し、必要な文型・表現を身につけます。また、書いた文章をお互いに読み合うことによって、客観的・論理的な視点を深め、内容を構成していく力と文型・表現の適切な運用力を養います。さらにその内容をパワーポイントを使って発表する。</p>
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ①状況をまとめる－「自国(地域)の産業について」ディスカッション、 2. 「自国(地域)の産業について」アウトライン作成 3. 文型・表現 4. 文章作成 5. ペアで読み合う 6. 校正する 7. 表現力を高める (N2) 8. 表現力を高める (N2) 9. ②課題を見出す－「自国(地域)の産業の課題と対策」ディスカッション、 10. 「自国(地域)の産業の課題と対策」アウトライン作成 11. 文型・表現 12. アウトライン校正 13. 文章作成 14. ペアで読み合う、 15. 校正する 16. 表現力を高める (N2) 17. 表現力を高める (N2) 18. ③パワーポイントで発表する－スライド原稿の作成 19. 「自国(地域)の産業の課題と対策」スライド原稿のアウトライン作成 20. スライド原稿作成 21. スライド原稿校正 22. 発表原稿作成 23. 発表原稿作成 24. 発表原稿校正 25. 発表原稿校正 26. 発表練習 27. 発表練習 28. 質疑応答練習 29. 発表・質疑応答 30. 発表・質疑応答、まとめ
授業形態	講義。ペアワークやディスカッションを取り入れながら進める。
達成目標	<ol style="list-style-type: none"> ①あるテーマについて書かれた文章が論理的かどうか検討できる ②社会に関わるテーマについて800字程度の文章が、論理的かつ適切な文型・表現を使って書ける。 ③プレゼンテーションのためのスライド原稿とは発表原稿のポイントが理解でき、4～5枚程度のスライドを使って発表ができる。
評価方法	①クラス参加度(20%)、②課題提出(30%)、③プレゼンテーション(30%)、④授業内の小テスト(20%) 尚、②課題提出及び③プレゼンテーションについては、提出回数及び質によって評価する。
評価基準	100点満点の成績に対して、80-100点を優、70-79点を良、60-69点を可、59点以下を不可とする。
教科書・参考書	担当教員がプリントを配布する。参考書は授業内で紹介する。
履修条件	留学生のみ
履修上の注意	特になし
予習・復習	予習：テーマに沿ったアウトラインを考え、文章を作成する(40時間)。復習：授業で学習した語彙や文型を整理し、理解を深める(20時間)。
オフィスアワー	講義中に指示する。
備考・メッセージ	学生の日本語力によってテーマの変更があり得る。